



DX / GX (DX分野)

株式会社舞台ファーム

宮城県仙台市



美里グリーンベース外観



同内観



針生代表取締役

事業者名 株式会社舞台ファーム

代表者 代表取締役 針生 信夫

所在地 宮城県仙台市若林区日辺田中 1

設立 2003年

従業員数 154名

URL <https://butaifarm.com/>

(2025年12月1日現在)

受賞分野 > DX分野

 取組内容 > **農業を「経験と勘」から「データと論理」、そして、食卓イノベーションへ。異業種連携とDXで挑む、次世代の農業モデル構築**

事業概要

江戸時代から続く農家の挑戦、生産から加工・販売まで一貫展開。「未来の美味しいを共に創る。」を理念に掲げ、高度な栽培技術と最新設備を駆使した野菜・米の生産、カット野菜などの加工販売、農業コンサルティング、再生エネルギー事業などを展開。農業DXによる「自動化」と「継承」に取り組んでいる。

※受賞歴

東北経済産業局主催「TOHOKU DX大賞2023」審査員特別賞、仙台市主催「仙台X-TECHイノベーションアワード2024」最優秀賞、仙台市主催「仙台X-TECHイノベーションアワード2025」PBL部門最優秀賞、東北経済産業局主催「TOHOKU DX大賞2025」ソリューション部門最優秀賞

取組内容

匠の技をデジタル化し、農業の生産性を最大化。東北最大級の農業生産法人である同社は、長年培ってきたベテラン農家の暗黙知（水やり、施肥のタイミング等）を、**センサーやカメラを用いてデータ化・形式知化することに成功**。最新のロボット技術とデータを融合させた大規模植物工場「美里グリーンベース」を稼働させ、天候に左右されない安定生産と高収益化を実現した「**製造業としての農業**」を確立している。

生産プロセスの可視化と制御

ハウス内の温度・湿度・CO₂濃度などをリアルタイムに監視し、必要に応じて**自動制御できるシステム**を導入。さらに、植物工場におけるレタスの生産状況を可視化する仕組みを自社開発し、稼働状況をリアルタイムで把握しながら、トレーサビリティを確保している。

ロボット活用による自動化

「美里グリーンベース」では、育苗から定植までの工程にムービングシステムやロボットを導入。美里の地域に**最適化した栽培レシピをロボット・AIが実行**することで、季節に応じた最適な栽培方法を確立。土地面積を最大限に活用する独自のシステムにより、**露地栽培の約80倍もの生産効率を実現**している。

「農業」を魅力的な産業へアップデート

DXによって「きつい・儲からない」という農業のイメージを変えている。**データに基づいた経営指導システム**を地域の生産者にも展開し、**地域全体の収益力向上**を目指している。将来的には、この日本型スマート農業モデルを海外、特にアジア地域へ輸出することも視野に入れている。